

令和5年度第2回院内感染対策講習会報告

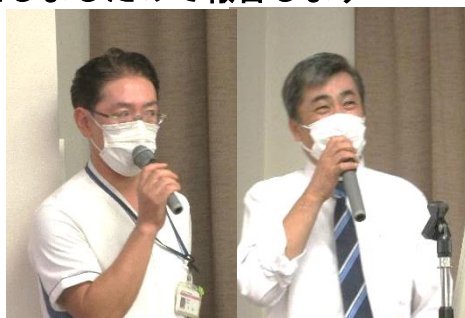


10月2日に令和5年度第2回院内感染対策講習会を開催いたしましたので報告します

演題1：病院全体での手指衛生による感染対策について

講師：感染管理認定看護師 南 康一 先生

内容：当院において手指消毒剤使用量が減少している現状、全職員が行うことのできる感染対策として手指消毒があり、正しい使用方法及びタイミングについて



講師の先生方

演題2：医療施設における環境整備

講師：サラヤ株式会社 西本 尚也 先生

内容：環境整備に関する厚生労働省通達、CDCガイドライン勧告をもとに、手指の接触頻度で清掃頻度を分けることや、具体的な清掃方法について



講習会を受けて・・・

手指消毒量が減少していることは度々ICTでも話題に上がっており、それを踏まえての今回の講習会でした。COVID-19が5類感染症となり、日々の感染対策に対し気の緩みがあったのではないかと改めて感じました。看護師だけでなく、医療スタッフ全員が感染対策の意識を再度高めるとともに行動に移していくことが大切です。講演にあったように「エリアをまたぐときの手指消毒」を徹底していきたいと思いました。

また、高頻度接触面の中でも共用のPHSやパソコン・キーボードなどは不特定多数の方が使用しているが汚染意識、清掃頻度が低いという話がありました。手指を介した感染を防ぐために、こうした見落とされがちな部分に関しても清掃、手指衛生の重要性を感じました。
【記：薬剤部：北川秀人】

受講票：設問の解説

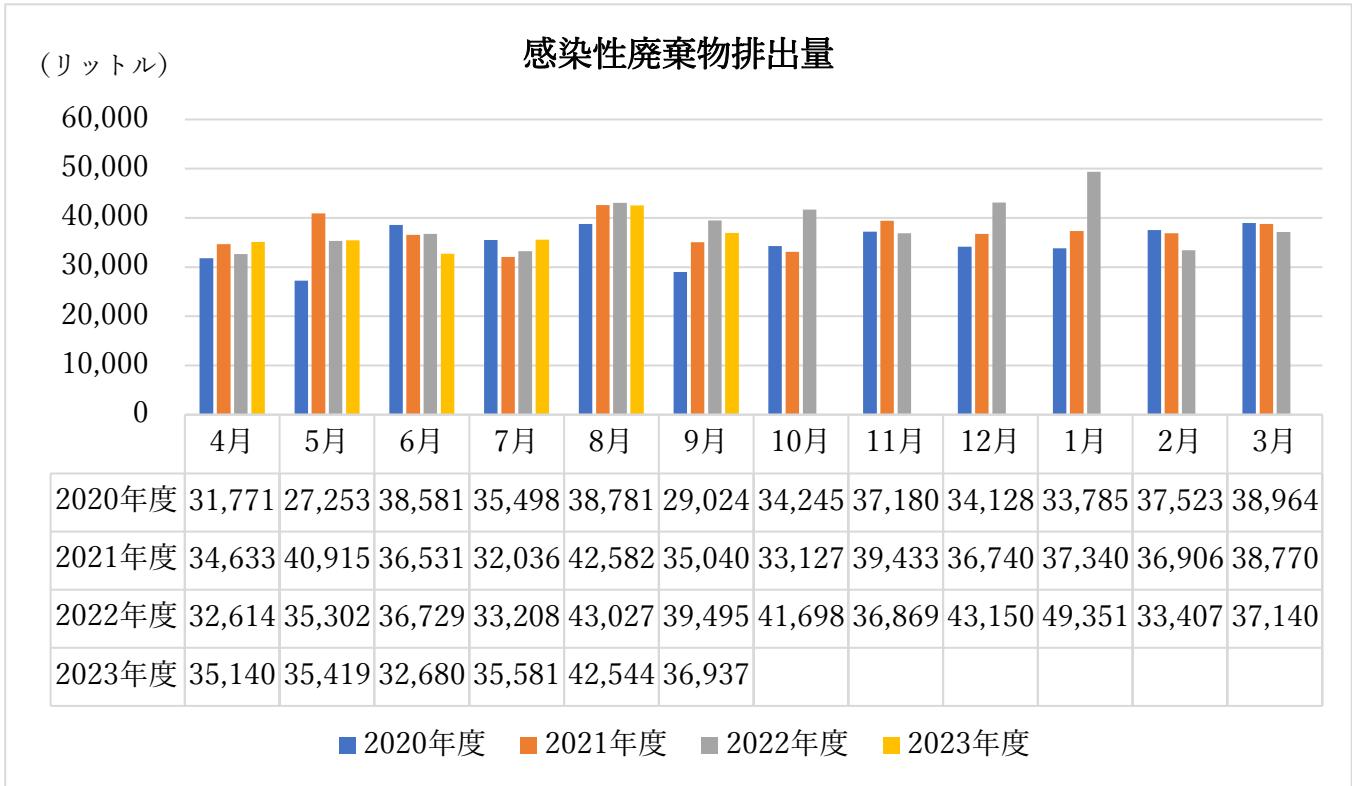
1. 手指衛生（手指消毒等）が不要な場面はどれか⇒**必要な場面を考える**
 - ・ エリアをまたぐときに手指衛生徹底：個人・家庭エリア ↔ 職場エリア
患者エリア ↔ 医療エリア
2. 清掃方法で間違っているのはどれか⇒**清掃ポイントを考える**
 - ・ 微生物は埃に付着して浮遊するため、埃を取り除く
 - ・ 清潔箇所から汚染箇所へ向かって清掃する
 - ・ 上方から下方へ、奥から手前へ、一方向に清掃する
 - ・ S字を描きながら拭き残しなく清拭する
 - ・ 一度拭いたところには戻らない
3. 病室での高頻度接触面ではないものはどれか⇒**患者が良く触るのはどこか**
ベッド柵、手すり、ドアノブ、カルテ、PCのマウスやキーボード など
4. 次亜塩素酸ナトリウムで清掃したほうが良いものはどれか ※設問削除
 - ・ 血液（肝炎ウイルス）や嘔吐物（ノロ・ロタウイルス）など**アルコールが無効なウイルス**の可能性のある場合は**次亜塩素酸ナトリウム**で処理をする
5. 組み合わせで間違っているのはどれか⇒**日頃どうしていますか？**
 - ・ 聴診器の清掃→アルコール含有クロスまたは酒精綿で拭く
 - ・ 通常の部屋の清掃→環境用クロス（低水準消毒剤配合）で拭く
 - ・ 唾液がついた手→アルコール手指消毒剤で手指衛生をする⇒**汚れを物理的に除去する**
 - ・ ノロウイルス患者の部屋清掃→次亜塩素酸ナトリウム又はルビスタ®



感染性廃棄物の排出量削減について

ここ数年、COVID-19 対応の影響もあり、感染性廃棄物の排出量が増加傾向です。県の方針や経費削減の観点から、感染性廃棄物の排出量を削減する必要があります。

これは 2020 年度からの「感染性廃棄物排出量」のグラフです。昨年度（グレーの棒線）が伸びているのがお分かりになるとと思います。



感染性廃棄物処理料として、1か月平均で約 180 万円（**年間約 2,160 万円！**）が発生しており、これをコロナ禍前と同様の水準（現在の 1 割減）とすることで**年間約 200 万円の削減**が見込めます。

そこでみなさんに**感染性廃棄物の分別の再確認**を行っていただくため設問を出します。

➤ **以下の 5 項目について、どのように廃棄しますか？**

院内感染対策マニュアルの「**廃棄物分別一覧表**」を参考に考えてみてください。

（選択肢：A. 耐貫通性感染性廃棄物容器、 B. 段ボール製感染性廃棄物容器、
C. 一般可燃物、 D. 医療プラスチック、 E. 缶・瓶・ペットボトル）

- ① コロナワクチンのバイアル
- ② 血液が付着したビニール袋
- ③ CD（クロストリディオイデス ディフィシル）陽性患者の使用済み紙オムツ
- ④ 手洗い後のペーパータオル
- ⑤ 点滴ルートと点滴空ボトル（例：500ml プラボトルと輸液ルート）

他にも感染性廃棄物の排出時に隙間が出ないように工夫して容器に入れるなど、効果がある取り組みがあるかと思います。事故や感染リスクが発生しない範囲で感染性廃棄物排出量の削減にご協力ください。

解答：① ⇒ A ② ⇒ B（血液の量が多ければ A） ③ ⇒ B ④ ⇒ C

⑤ ⇒ 氏名のシール：ボトルから剥がし読めないように丸めて C 一般可燃物へ廃棄
ボトル：D 医療プラスチック

輸液ルート：A 耐貫通性感染性廃棄物容器（ルート先端が鋭利なため）

【記：総務課 高島拓也】

